

Idea-Reaction

岐阜県立岐南工業高等学校 電気研究会

吉田 旭翔 / 加藤 光希 / 武田 優

素敵なアイデアはなかなか生まれません。私達も素敵なアイデアを生み出す為に、脳がちぎれるほど考えても、うまくいかない事ばかりです。

だからこそ、アイデアの種が生まれた時に大切に育てる事が重要なのだと感じています。

今回のIdea-Reactionでは、アイデアを生み育てるだけではなく、花を咲かせるところまでアプローチします。高校生が沢山のアイデアの花を咲かせる先に、明るい日本が待っているような気がします…

1. アイデアを記録する

アイデアを生み出す事が得意な人達から、情報を集めました。アイデアは、生み出されたらすぐに忘れてしまうそうです。ですので、高校生がいつも肌身離さず持っているスマホのアプリでアイデアを記録する設定にしました。「思いついた事」、「疑問に感じた事」、「素敵だなと思った事」をIdea-Reactionで記録する習慣を身につけましょう！



Idea-Reaction

テキスト・写真・音声のどれかで
アイデアを簡易的に記録

※忘れないことが最大の目的



日時と場所を自動的に記録

※統計をとってアイデアが生まれやすい
場所と時間を割り出す

2. アイデアをまとめ公開する

1では簡易的に**アイデア**を記録しただけなので、アプリでガイドしながら、以下の流れで**アイデア**をまとめます。また、公開範囲なども設定します。

- ① 先行事例がないかどうかを調査する
- ② なければ、**アイデア**を**ブラッシュアップ**する
- ③ **ブラッシュアップ**した**アイデア**を公開するなら④へ
- ④ まとめた**アイデア**の公開範囲を設定する

※公開しすぎると、模倣される

※公開しなさすぎると、伝わらない

- ④ 人とつながる**範囲**を決める

※例：同じ学校限定・高校生限定・社会人限定など

- ⑤ **アイデア**を公開する

3. アイデアでつながる

公開してある**アイデア**を見て**シナジー効果**のある**アイデア**同士で**コラボ**して新しい**アイデア**を生み出したり、**インスピレーション**を受けたり、実際に**アクション**を起こしたりする場を設けます。ある意味、**アイデア**に特化した**SNS**のような機能です。以下のような可能性が考えられます。

- ◎ 会社と高校生の**アイデア**の融合で新商品開発
- ◎ 高校生がアドバイザーになったイベント開催
- ◎ 同じ**アイデア**を持つ北海道と沖縄の学生が共同研究
- ◎ 会社や地方公共団体が**アイデア**を募集
- ※ この分野で**マネタイズ**を想定しています
- ◎ アプリ提供会社が学生の**アイデア**の権利を守る

今回は、**アイデア**を生み育て花を咲かせることを目的とした学生対象の**アプリ**の提案です。**アイデア**を蓄積するサービスはいくつかありましたが、学生が**アイデア**で人とつながって、何かの**アクション**を起こすサービスと連携しているものはありませんでした。ですので今回の提案は、学生が新しい**アイデア**を日常的に考え、**新しい価値**を世の中にどんどん送り出す事ができる新たな可能性があると考えています。

そして、今回 の提案で一番重要だと考えているのが、**アイデア**を通した**人の つながり**を作る機能です。ひとりではできない事でも、誰かとなら何かを起こせる事が沢山あると思うからです。**アイデア**にはそんな**力**があると思います。その流れを応援するのが**Idea-Reaction**なのです。

